

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.782 2018

2018年12月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料62円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641
URL：http://www.ymcajapan.org/
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅
印刷／あかつき印刷株式会社



クリスマスを考えてみよう



ベツレヘム 聖カタリナ教会のステンドグラス

OPINION

一人ひとりが歓迎される 世界をめざして —クリスマスに思う—

村瀬 義史 (関西学院大学総合政策学部 准教授)

日本に見られるクリスマスの大衆イベント化は明治時代から始まっているようで、その騒ぎ方にはキリスト教をやんわりと遠ざけようとする日本人の抵抗の知恵が潜んでいるのだ、という議論もあります（堀井憲一郎著『愛と狂瀾のメリークリスマス』）。しかし、軽薄に見える部分のあるイベント的クリスマスにも、サンタのように誰かを喜ばせる存在でありたいという多くの人の願望が反映されており、クリスマス（キリスト降誕祭）の意味と通じるところは少なくないと思います。

普段、私が大学で出会う学生たちは、学生生活のさまざまな経験によって知性と人格を磨き、各自のやり方で将来を模索しています。それはアイデンティティの模索と重なっており、根底には周りの人やこの世界にとって自分が一体誰なのか、私はどんな存在になり得るのか、という、一つ高い次元の探求があります。きっと誰もが、誰かにとって意味のある何者かでありたいのです。多感な若者たちはこの大切な問いを、この世に生をうけた意味を、より根本的に問い掛けている存在なのかもしれません。

クリスマスは、イエスの誕生を中心に、生まれてくる不思議について思いをはせる魅力ある祭りです。聖書によると、イエスの誕生を真っ先に歓迎したのは社会の周縁や底辺で生きる人びとでした。ここには、分け隔てのない神の愛を伝える生涯において、イエスが特にどのような人びとと共に生きることになるかが暗示されています。キリスト教では、「人」として生まれたイエスの存在そのものが、神からの贈り物だと考えます。孤独を破り、人を力づけ支えるのは、モノ・コト自体ではなく「人」なのです。

イエスの誕生を祝う意味の一つは、イエスと、彼が特に大切にしたい人びとにとって、自分が誰であるのかを問い返すこと。また、自分がこの社会にいる、誰にとっての、どういう存在なのか、を問い返すことだと思えます。ささやかでも、イエスと共に、弱さや困難の中にある人の友になれるならば、なんと幸いなことでしょう。こうした歩みの中で、自分も他者も等しく、一人ひとりがこの世への神からの贈り物であることに目を開かれるのだと思えます。

(関西学院大学YMCA顧問、日本YMCA同盟学生部委員)

(OPINION…意味は「意見・見解」など。『THE YMCA』では毎号、関係ある団体・個人からの意見や提案を掲載します。)

『彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。』

イエスが生まれた場所は宮殿でもなく、清潔な部屋でもなく馬小屋でした。お生まれになった時から、一番弱く小さくされた人の近くに来てくださったと言えるのではないのでしょうか。今でも身近に、そして世界に弱く小さくされた人がいます。国の争いに巻き込まれた人、貧しい人、仕事のない人、病に苦しむ人、いじめに悩む人、災害にあった人……イエスが一人ひとりの隣に共にいてくださることを、より願います。

イエスが生まれたベツレヘム（パレスチナ）と、パレスチナとパートナーシップを結ぶ在日本韓国YMCAからのクリスマスメッセージをお届けします。今一度、クリスマスの意味や、私たちに何ができるかを考える時にしたいと思います。

裏面へ

エリアス・ディアス (パレスチナ)

2004年夏「YMCAピースキャラバン」として、イスラエル、スリランカ、インド、アメリカの青年が日本を訪れました。スティーブン・リーパー（元広島平和文化センター理事長）を団長に、3カ月間車で全国を回り、各国の文化を伝え、平和の大切さを学び合いました。初めてパレスチナを出て、海外へ行き、日本を訪れ、戦争や紛争のない平和な社会の実現のために、まず他者を思いやることから始めなければならないことを学ぶ、かけがえのない機会となりました。

代々受け継がれてきた神様の地「パレスチナ」。私たちは、次の世代が未来に希望を持てる、占領、抑圧のない生活を求める不断の決意を持って日々を歩んでいます。

パレスチナの詩人マフムード・ダルウィーシュは、『Think of Others』の中で、「戦いに向うときでさえ、他者のことを考えなさい。平和を求めている人びとを忘れてはならない」と謳^{うた}いました。戦争の犠牲となる子どもたち、生まれ育った土地から追われる家族を心に留めなくてはなりません。

イエス・キリストが生まれたベツレヘムから、苦しみの中にある世界中の人びとに、クリスマスメッセージを送ります。平和のために祈ります。決断と行動のための勇気を与えてください。難民生活を強いられている家族が、再び自分たちの土地で暮らすことができますように。世界に散らばった600万人のパレスチナ人が、故郷に帰ることを切望しています。そして、この世界で同じ苦しみを経験している人びとに心を寄せています。



エリアス氏(今年のクリスマスに母と共に撮影)

田附 和久 (在日本韓国YMCAスタッフ)

1919年のクリスマス、市ヶ谷監獄の教誨室に集められた9人の青年たちは、涙にむせびながら祈りを捧げました。彼らは、その年の2月8日に東京朝鮮YMCAで発表された朝鮮独立宣言書に署名し、逮捕され、服役していた朝鮮人留学生たちでした。



学生への差し入れと面会を続けてい 2・8宣言の署名者

た東京朝鮮YMCA幹事の白南薫（ペク・ナムフン）は、クリスマス日に皆が集まって祈る機会を設けてほしいと看守に頼んだところ、必ず日本語で祈るようにという条件で、特別に許可を得ることができました。白南薫は、学生たちと共に泣きながら祈りを捧げたこの日の様子を、後に回顧録に記しています。

それから100年の歳月が流れました。かつて独立運動の現場であった東京朝鮮YMCAは、現在では在日本韓国YMCAアジア青少年センターとなり、韓国人、日本人だけでなく、アジア諸国の青年たちの集いの場、学びの場、交わりの場として、平和を築くためのさまざまな活動を展開しています。

かつての朝鮮人留学生たちのように、今年のクリスマスにも、正義を主張したために自由を奪われ、監禁された状況でクリスマスを迎えている友が世界の各地にいることを忘れないようにしましょう。また故郷を離れ、困難の中でクリスマスを迎えている、難民や移住者の仲間たちのことも心にとどめましょう。いつか必ず正義と公正を伴う平和が世界に実現することを確信し、世界の友と祈りを合わせましょう。インマヌエルー主はいつも私たちと共におられます。

Positive Net NEWS

ポジティブネット…互いを認め合い、高め合うことのできる、人の善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク

アジア・世界のYMCAから

□アメリカ Black Achieversによる 若者への支援

ウォルナットストリートYMCAのBlack Achieversプログラムが30周年を迎えました。アメリカ社会の中で、アフリカ系アメリカ人の若者が教育や職業に目的を見出し、希望を持って歩めるよう、地域のさまざまな分野で活躍するメンターが若者に寄り添いながら活動を続けています。



進学について理解を深めました

□来年のアジア・太平洋YMCA大会は日本で開催

「Living Together Within Nature on a Path to Peace」をテーマに私たちが自然の一部として暮らしを営み、平和と調和のとれた社会へと導くために何ができるかを考えます。ユース・アッセンブリーは2019年8月31日から、本大会は9月2日から実施されます。

□世界メンタルヘルスデイの取り組み

10月10日は世界メンタルヘルスデイです。世界のYMCAは若者のメンタルヘルス（心の健康）への取り組みを始めています。イングランドおよびウェールズのYMCAで始まった「I am Whole」（私は自分らしくいて良い）キャンペーン



キャンペーンに参加したユース

ンを受け、オーストラリアのベンディゴYMCAは、若者たちが心を見つめる時間を過ごし、心も体と同様に気を配る必要があるというメッセージを丸いシンボルマークとともに発信しました。

□東ティモールYMCA 活動報告

今年1月に90人を迎えて幼稚園を開所し、活動が広がっています。PSG（Partner Support Group）会議では、今後、どのように自立した活動を展開することができるかなど話し合いが行われました。2019年2月にはアジア・太平洋YMCA同盟によるスタッフトレーニングも予定されています。

●記事の続きは日本YMCA同盟の「世界のYMCA」ページに掲載しています。ぜひお読みください。

日本YMCA同盟 検索

『THE YMCA BLUE BOOK』日本語版

2018年7月開催の世界YMCA大会で、『THE YMCA BLUE BOOK（世界YMCA統計報告）』が発表されました。世界のYMCAがユース・エンパワメントを推進する団体として、数年間でどのように変化をし、若者が抱える課題に対して、よりフォーカスしたプログラムによって、どのようにその役割を果たしてきたかを数字で表したものです。

この度、この報告書に日本語訳を添えたもの、ならびに世界同盟で作成したBLUE BOOKビデオ版に日本語字幕を付けたものを作成いたしました。

●報告書(可能であればA4両面カラー印刷にてご活用ください)は、日本YMCA同盟ホームページから見ていただけます

<https://www.ymcajapan.org/topics/20181107-2/>

●ビデオへのリンク(世界同盟YouTube)

<http://bit.ly/Bluebook2018Japan>



ビデオの QRコード

※組織の多様性も考慮し、英語版をベースにして作成されています。英語をお使いの方々にもご紹介ください。